

児童相談所関連研修「児童福祉司（応用）Ⅱ」

【実施日】	2月14日（金）、20日（木）、28日（金）
【受講決定者数】	38名
【受講生の声】	・受講して良かったと感じる講義ばかりで、とても良い時間でした。今回の研修では、じっくり時間をかけて考える必要性や、緊急的に判断する必要性の両方を学んだと感じています。常に判断を求められる職業だからこそ、その判断の助けになるスキルやテクニックを今後も磨き、実践していきたいです。 ・クライアントを語るのではなく、クライアントとの関係性を語れることが支援であるとの助言は、支援の方針になりました。 ・様々な死亡事例から法改正がされたりと歴史的な背景を知ることができました。家庭の状況を聞くと、普段関わっているケースと差異がなく、死亡の可能性はどこにでもありますと感じました。 ・初動の動きや親子面会の持ち方、面会のタイミング、関係機関との連携まで、改善すべきところはあったと思う。疑問に思う感度を上げて対応し、自分一人で抱え込まないことも大事だと改めて感じました。 ・KPTやインシデントプロセス法など、元々は福祉に直接関係があったわけでもないものも、場面によってうまく使うことで今後の方針が立てやすいことや、面接をうまく進めることができると、実際に体験しながら落とし込むことができました。